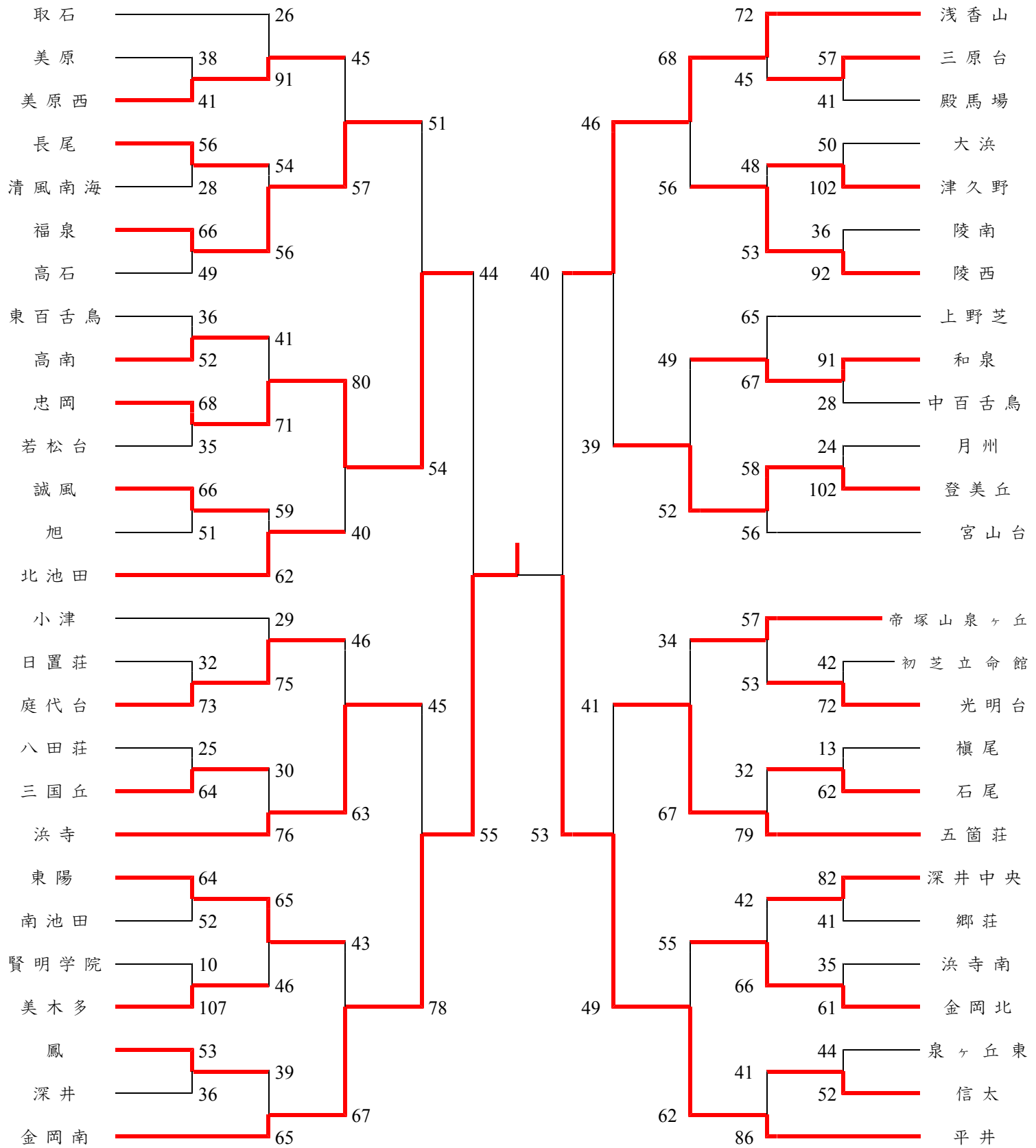


2018年度 泉北地区秋季大会

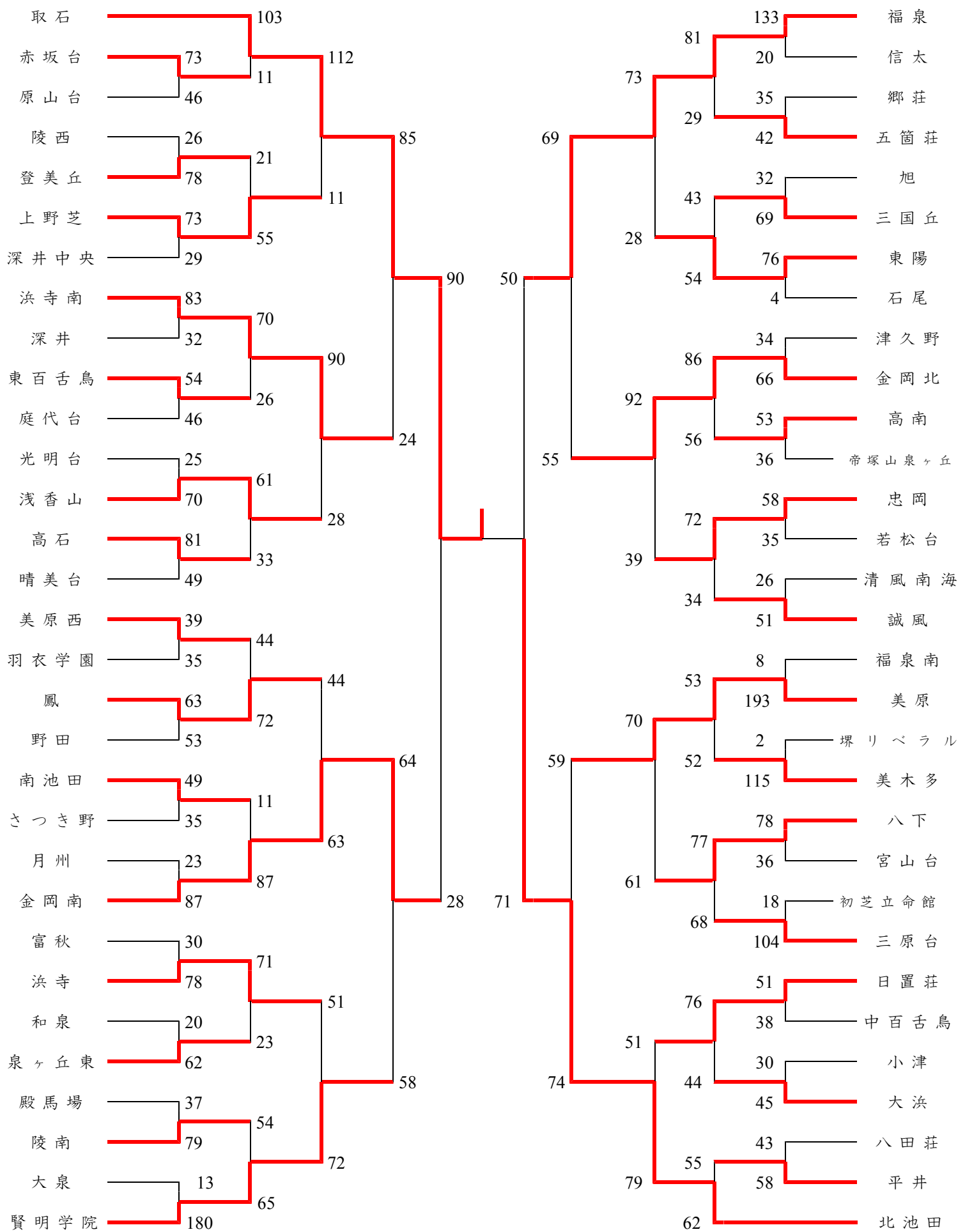
男子の部



決勝

金岡南	7	0	-	5	6	平井
	1	2	1Q	1	1	
	2	2	2Q	1	8	
	1	9	3Q	1	2	
	1	7	4Q	1	5	

女子の部



決勝

取石	9	5	-	4	3	北池田
	1	6	1Q			8
	2	4	2Q	1		7
	2	6	3Q			9
	2	9	4Q			9

男子決勝戦評

金岡南④⑤⑥⑦⑧、平井④⑤⑥⑦⑫

- 1 Q 平井は厳しいディフェンスからの速攻や1 on 1などで得点を重ねていく。対する金岡南は⑤の1 on 1から得点を重ね、食らいついていく。終盤、金岡南⑧がバスケットカウントのフリースローを決めて金岡南が逆転し、12-11で1 Qが終わる。
- 2 Q 開始早々、金岡南は、④のミドルシュートや⑤のバスケットカウントで流れを掴もうとする。対する平井は、⑦のバスケットカウントなど積極的な1 on 1を仕掛けるが得点にならず、金岡南⑦のレイアップが決まったところで平井がタイムアウト。その後、平井⑤のドライブ、⑫のフリースロー、⑥のミドルで点差を縮め、34-29で前半を終える。
- 3 Q 金岡南は⑤を起点に、④のドライブ、⑦のシュートなどで点差を広げる。対する平井は⑫の果敢なディフェンスから④の速攻や⑥のドライブで応戦するが、金岡南⑦が効果的にリバウンドシュートを決め、53-41で3 Q終了。
- 4 Q 平井⑥がリバウンドシュートやミドルシュートを決め、流れが傾きかけたところで金岡南がタイムアウト。金岡南は⑧⑤の連続スリーが決まり、平井はたまたまタイムアウト。平井はディフェンスから仕掛けボールを奪うが、思うようにシュートが決まらない。安定した試合展開を見せた金岡南が70-56で優勝を飾った。

女子決勝戦評

泉北地区春季大会と同じカードになった決勝、取石④⑤⑦⑧⑩、北池田④⑤⑥⑧⑬でスタート。

取石④のドライブで先取点。⑤の1対1、⑧のレイアップシュートで得点を重ねる。取石、ハーフコートからディフェンスできっちりと守り、北池田はなかなか得点することができない。その間にも取石はしっかりと攻め、⑤を中心に得点を重ねる。北池田は、⑥の3Pシュート、④のドライブで得点するが、16-8取石リードで第1ピリオドを終える。

第2ピリオドも流れは変わらず、取石は固い守りからの速攻、鋭いドライブで点数を重ねていく。北池田は④⑤のドライブ、3Pシュートで応戦するも、取石は反撃を許さず、40-25取石リードで前半を終える。

第3ピリオドの立ち上がり、北池田⑤が3Pを決めるが、取石がディフェンスで足を動かし続ける。取石は、速攻からの得点で一気に点差を広げ、66-34で第3ピリオド終了。

第4ピリオドも北池田は④⑤⑥のドライブ、3Pシュートで得点するが、取石の勢いは止まらず、リードを広げ95-43で取石中学校が3年生最後の大会で優勝を果たした。

(辻、池谷)